



## 学会設立の経緯と目的

洋学史学会 (The Society for the History of Western Learning in Japan) は、蘭学資料研究会をはじめとする先学の築かれた洋学・蘭学史研究の伝統と重みとに敬意を表し、その貴重な遺産を絶やすことなく、これを継承し、洋学史研究のさらなる発展を目指して、1991年に設立されました。

洋学・蘭学史研究は広範多岐にわたり、医学、科学技術、軍学、語学、海外交渉、貿易、美術工芸、音楽、歴史、地理、政治、経済、教育、出版、文学、思想などを研究対象とし、それぞれについて、すでに学会が存在します。しかし、これらの学会は、いずれも洋学・蘭学そのものを対象とする学会ではありません。洋学史学会は、洋学・蘭学自体を研究し、これを推進する組織として設立され、個々の学会に所属する人々が、洋学・蘭学史という関心のもとに結集し、共同で討議・研究することにより、自らのアイデンティティを確認する場ともなっています。そして、これまでの洋学・蘭学史研究の、よき伝統・雰囲気継承する組織として、さまざまな学問的背景をもつ全国各地の同好の士が集まり、互いの情報交換・交流を通じて、実りある成果をあげています。

このように洋学史学会は、洋学・蘭学史研究の伝統と遺産とを継承し、それを次世代に引き継ぐという大きな課題を担っています。今後も、より多くの方々の参加をお待ちしています。

## 学会活動

洋学史学会は洋学史の研究と普及・発展とをはかることを目的として、次のような事業を行っています。

1. 大会および月例会の開催  
シンポジウム（5月）と大会（9月）をそれぞれ年一回開催するほか、7月、11月、12月、3月に研究会を行っています。会員は、これに参加し、または発表することができます。
2. 年報『洋学』および『洋学史通信』の発行  
洋学史研究の普及・発展および情報交換の場として、『洋学』を年1回、『洋学史通信』を年2回発行しています。
3. その他本会の目的達成に必要と認められる事業  
これまでに、本学会主催または他学会・他団体との共催により、講演会やシンポジウムなどを開催しています。

## 年報『洋学』

洋学史学会の機関誌として、年一回発行されています。会員は、郵送による頒布を受け、また論文等を投稿することができます。



# 洋学史学会

## 入会手続、入会金、年会費

会員は個人および法人からなり、個人会員には正会員のほか学生会員の制度があります。

入会にあたっては、本人が申し込み、理事会の承認を受けた後、下記の入会金および年会費を納めることとなっています。

入会金：2000円

年会費：正会員 7000円、学生会員 3000円、団体会員 10,000円

なお、このほか、本会に特別の援助を提供する個人または団体のため、賛助会員の制度があります。入会申込み用紙は、学会事務局宛てに送付の申請をしてください。学会ウェブサイトからダウンロードすることもできます。

## 事務局および学会ウェブサイト

本学会の事務局は下記のとおりです。

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1

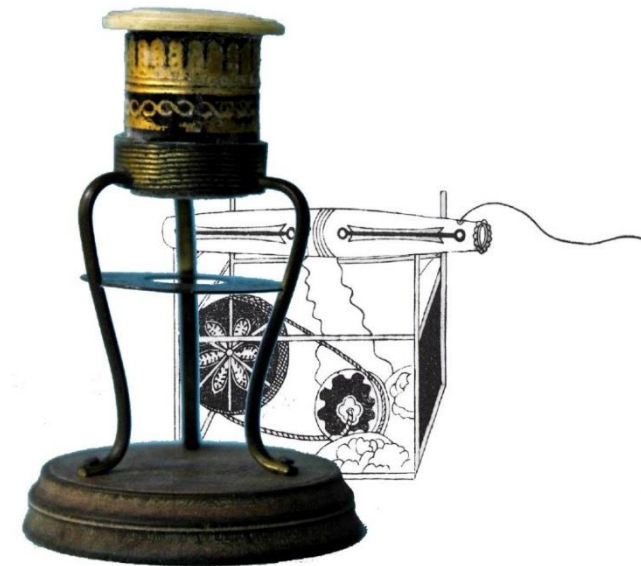
電気通信大学電気通信学部

佐藤賢一研究室気付

Tel/Fax (042) 443-5592

本学会ではウェブサイトを開設しています。

<http://yogakushi.jpn.org/>



The Society for the History of Western Learning in Japan

